



# ①国際バカロレア（IB）について

## 国際バカロレア（IB）とは

- 国際バカロレア（IB）とは、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。
- **課題論文、批判的思考や幅広い知識の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業**により、**グローバル化に対応した資質を育成**するプログラムで、世界160以上の国・地域の5,500校以上で実施されている（2022年10月現在）。
- **高校レベルのディプロマ・プログラム（DP）**では、**国際的に通用する大学入学資格（IB資格）が取得可能**であり、世界の大学入学者選抜で広く活用されている。
- 主に幼稚園相当から高校相当のプログラムを通じて、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する若者の育成を掲げている。

### （参考）主な教育プログラム

#### ◆プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)



⇒3～12歳を対象とした5年間のプログラム。主に幼稚園、小学校で導入

#### ◆ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)



⇒11～16歳を対象とした5年間のプログラム。主に中学校で導入

#### ◆ディプロマ・プログラム(DP)



⇒16～19歳を対象とした2年間のプログラム。主に高校で導入

- ✓ 所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、**国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能。**
- ✓ 原則として、英語、フランス語又はスペイン語で実施。一部の科目において、日本語での実施（日本語DP）が可能。



## ②我が国におけるIB推進の意義と位置づけ

### IB推進の意義

#### ①グローバル人材育成

- ✓幅広い知識の**探究スキル**、**課題発見・解決能力**、**コミュニケーション能力**等を育成
- ✓国際的な視野を持ち、将来の社会課題に対応するグローバル人材を育成



（参考）IB生の授業風景  
@市立札幌開成中等教育学校

#### ②初等中等教育の質の向上

- ✓新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」等、**IBと日本の教育政策との高い親和性**
- ✓**主体的な学び**を通じた全人教育により、初等中等教育の好事例を形成

#### ③国際的通用性

- ✓IB資格を活用した**国内外への進路の多様化**（DPのスコアを**海外大学の受験に活用可能**（学力試験の免除等）となる等）
- ✓国内大学でのIB入試導入により、海外のIB生を呼び込み、国内の**大学の国際化・活性化**

### 成長戦略2021 令和3年6月18日 閣議決定

#### 【工程表】

国際バカロレアに関し、国内の普及体制（コンソーシアム）を通じ、デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム（日本語DP）の導入促進、大学入試における国際バカロレアの活用促進、国際バカロレア導入に向けた環境整備（教育課程の特例措置、教員の養成・確保等）等を推進

- ・ **国際バカロレア認定校等を2022年度までに200校以上**

### 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 令和4年6月7日 閣議決定

#### 【フォローアップ】

- ・ 2022年度末までに国際バカロレア認定校等を200校以上にするため、相談対応や広報を行うとともに、**大学での国際バカロレアの活用促進のための方策について検討し、2022年度中に結論を得る。**

### ③文部科学省における主な取組

#### 日本語DPの導入（2013年～）

国際バカロレア機構との協力の下、DPの一部科目について日本語での授業及び最終試験の受験を可能にすることで、IB教育を実施する学校や教員の負担を軽減。

#### 高等学校学習指導要領との読替（2017年～）

DPと学習指導要領との対応関係を示すことで、IB科目と学習指導要領の教科・科目等の両方を履修することによるIB生や学校等の負担を軽減。

#### IB教育推進コンソーシアムの設立（2018年～）

国内におけるIB教育ノウハウを横展開し、IBの普及促進活動を行うことを目的として、IB校等へのきめ細やかな支援体制を構築。

##### 【主な機能】

- 地域の実情を踏まえたコンサルティング等の実施
- セミナー等を通じた情報交換等の促進
- IBの教育効果等についての調査研究の実施

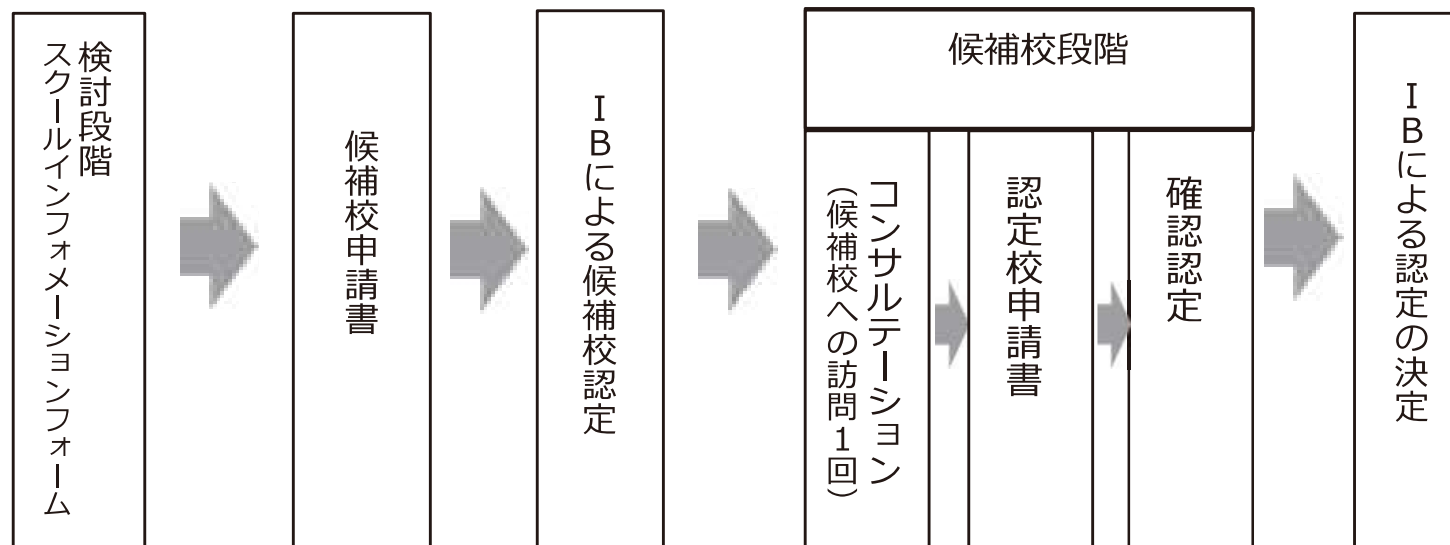
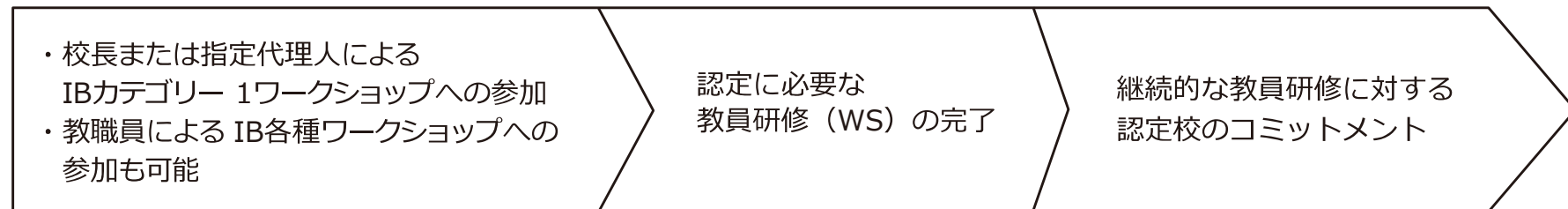


IB地域セミナー



## ④ IBの認定プロセスについて

学校や教育機関が国際バカロレアを導入し、公式なIB認定校としてIB教育を提供するためには、国際バカロレア機構（IBO）の定めた認定プロセスを完了する必要がある。IB認定までには、学校や導入するIBプログラムによって異なるが、通常は2～3年の時間を要する。





文部科学省

## ⑤IBプログラム導入に係る費用概算

※IB機構のウェブサイトを参考に文部科学省にて目安として概算

| 段階         | 発生する経費                         | 概算額                                             |
|------------|--------------------------------|-------------------------------------------------|
| IB候補校になるまで | 学校長向けワークショップ参加費                | 約10万円                                           |
|            | IB候補校になるための申請費                 | 約60万円                                           |
| IB候補校      | IB候補校の年会費                      | 約140万円                                          |
|            | IB教員のワークショップ参加費                | 約130万円～約240万円<br>※参加する教員数により異なるため平均教員数にて算出      |
|            | IB機構のコンサルタント訪問費・<br>確認訪問に係る費用等 | IB認定に向け、コンサルタントや確認訪問団の<br>学校訪問に関わる経費が発生する       |
| IB認定校      | IB認定校の年会費                      | 約100万円～約140万円<br>※プログラムにより異なる                   |
|            | IB教員のワークショップ参加費                | IBのカリキュラム改定や人事異動のタイミングで<br>ワークショップ参加のための経費が発生する |
|            | IB機構の評価訪問に係る費用<br>(4-5年に1回)    | 認定後、初回は4年目、その後は5年に1度のスパンで<br>経費が発生する            |



## ⑥日本語DPの導入と高等学校学習指導要領の読替

### 日本語DP

ディプロマ・プログラム（DP）の授業・試験は、原則として、英語、フランス語又はスペイン語で行う必要があり、英語で指導可能な教員（主に外国人）の確保が課題となっている。

DPの一部科目を日本語でも実施可能とすることで、学校や教員の負担を軽減する。

### 高等学校学習指導要領との読替

DP科目と学習指導要領の教科・科目等の対応関係について、政府が一定の基準を示すことで、全国の高校や大学、自治体等に対して、IBと学習指導要領の対応を明らかにするとともに、DP科目と学習指導要領の教科・科目等の両方を履修するIB生等の負担を軽減する。

#### 読替による負担の軽減

##### ①IBコースを履修する高校生の授業時間の軽減

DP科目と対応関係が認められる学習指導要領の必履修教科・科目等を履修したとみなすことで、重複のある科目を二重に履修する必要がなくなり、卒業に必要な授業時間を軽減することができる。

##### ②IB校の教員が個別にDP科目との対応関係を精査する負担の軽減

DP科目を学習指導要領の教科・科目等とみなすための、各学校における対応関係の精査及びその申請を行う必要がなくなり、それらの作業の負担を軽減することができる。

##### ③大学がIB生の履修状況や学力についての判断を行う負担の軽減

政府が対応関係について一定の基準を示すことで、IBを入試に活用する各大学が、IB生の履修したDP科目が学習指導要領の教科・科目等の履修に相当するかどうかを判断する際の負担を軽減することができる。

# ⑦ディプロマ・プログラム（DP）について



## DPにおけるカリキュラムの特徴

DPは16歳から19歳までを対象としており、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が得られる。DPのカリキュラムは3つのコアに6つのグループで構成されている。各グループから1科目ずつを選択し、計6科目を2年間で履修することが必須である。

\* 赤字は日本語DP対象科目

| コア                                               | 概要                                                                                              |
|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 課題論文 Extended Essay (EE)                         | 学習している科目に関連した研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、論文（約8000字）としてまとめる                                              |
| 知の理論<br>Theory of Knowledge (TOK)                | 学際的な観点から個々の学問分野の知識体系を吟味し、理性的な考え方と客観的精神を養う。さらに、言語・文化・伝統の多様性を認識し国際理解を深めて偏見や偏狭な考え方を正し、論理的思考力を育成する。 |
| 創造性・活動・奉仕<br>Creativity, Activity, Service (CAS) | 教室以外の広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより、協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。                                            |
| グループ名                                            | 科目別                                                                                             |
| 1. 言語と文学（※国語に相当）                                 | 言語A：文学、言語A：言語と文学、文学と演劇（標準レベルのみ）                                                                 |
| 2. 言語と習得（※外国語に相当）                                | 言語B、初級言語（標準レベルのみ）                                                                               |
| 3. 個人と社会                                         | 経済、地理、歴史、ビジネスと経営、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、心理学、社会・文化人類学、世界の宗教（標準レベルのみ）、グローバル政治                        |
| 4. 理科                                            | 生物、化学、物理、コンピューター科学、デザインテクノロジー、スポーツ・エクササイズ・健康科学、環境システムと社会                                        |
| 5. 数学                                            | 数学：解析とアプローチ、数学：応用と解釈                                                                            |
| 6. 芸術                                            | 音楽、美術、ダンス、フィルム、演劇                                                                               |



## ⑧-1 新学習指導要領との対応関係

### ■ 必修科目の対応関係

| 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム                | 高等学校学習指導要領<br>(平成30年改訂) |
|------------------------------------|-------------------------|
| ランゲージA：ランゲージ・アンド・リタラチャー            | 現代の国語、言語文化              |
| ランゲージA：リタラチャー                      | 言語文化                    |
| ジオグラフィー                            | 地理総合                    |
| ヒストリー                              | 歴史総合                    |
| マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ          | 数学Ⅰ                     |
| マセマティックス：アプリケーションズ・アンド・インタープリテーション | 数学Ⅰ                     |
| フィジックス                             | 物理基礎                    |
| ケミストリー                             | 化学基礎                    |
| バイオロジ                              | 生物基礎                    |
| ミュージック                             | 音楽Ⅰ                     |
| ヴィジュアル・アーツ                         | 美術Ⅰ                     |
| ランゲージB                             | 英語コミュニケーションⅠ            |
| セオリー・オブ・ナレッジ                       | 総合的な探究の時間               |



## ⑧-2 新学習指導要領との対応関係

### ■ 必修科目以外の対応関係

| 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム                  | 高等学校学習指導要領<br>(平成30年改訂)                           |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ランゲージA：ランゲージ・アンド・リタラチャーSL            | 論理国語、文学国語、国語表現                                    |
| ランゲージA：ランゲージ・アンド・リタラチャーHL            | 論理国語、文学国語、国語表現、古典探究                               |
| ランゲージA：リタラチャー                        | 論理国語、文学国語、国語表現、古典探究                               |
| ジオグラフィー                              | 地理探究                                              |
| ヒストリー                                | 日本史探究、世界史探究                                       |
| エコノミクス                               | 政治・経済                                             |
| マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズSL          | 数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B                                   |
| マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズHL          | 数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C                               |
| マセマティックス：アプリケーションズ・アンド・インタープリテーションSL | 数学Ⅱ、数学A、数学B                                       |
| マセマティックス：アプリケーションズ・アンド・インタープリテーションHL | 数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C                               |
| フィジックス                               | 物理                                                |
| ケミストリー                               | 化学                                                |
| バイオロジー                               | 生物                                                |
| ミュージック                               | 音楽Ⅱ、音楽Ⅲ                                           |
| ヴィジュアル・アーツ                           | 美術Ⅱ、美術Ⅲ                                           |
| ランゲージB                               | 英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ<br>論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ |

## ⑨文部科学省IB教育推進コンソーシアム



日本国内における**国際バカロレア（IB）の普及促進**及び**IB教育ノウハウの横展開等を主導**することを目的として、平成30年にIBに係る国内関係者が集う文部科学省IB教育推進コンソーシアムを設立。

### 【主なコンソーシアム機能】

1. **関係者協議会**を通じた文部科学省への提言
2. 学校・教育委員会等への**日本の実情を踏まえたコンサルティング**等の実施
3. **ホームページ・情報共有プラットフォーム**の管理運営を通じたIB教育の情報交換等の促進
4. IB教育推進**シンポジウム**の開催（各地域でのセミナーも実施）
5. **コンソーシアム協力校・機関による連絡協議会**の運営

## コンソーシアムによる普及活動の様子

### 【コンソーシアム関係者協議会の開催】



#### 【関係者協議会における主な検討事項】

- IB普及・促進をめぐる諸課題の把握  
および論点整理
- 諸課題に関する検討分科会の設置
- 分科会による諸課題の整理ならびに  
課題解決アプローチの提案

### 【IB教育導入サポーター・ACファシリテーターによるIB啓発活動】



### 【IBに関するシンポジウムの実施】

テーマ「国際バカロレアで、  
学校・地域・社会が変わる」  
(2021年8月28・29日)

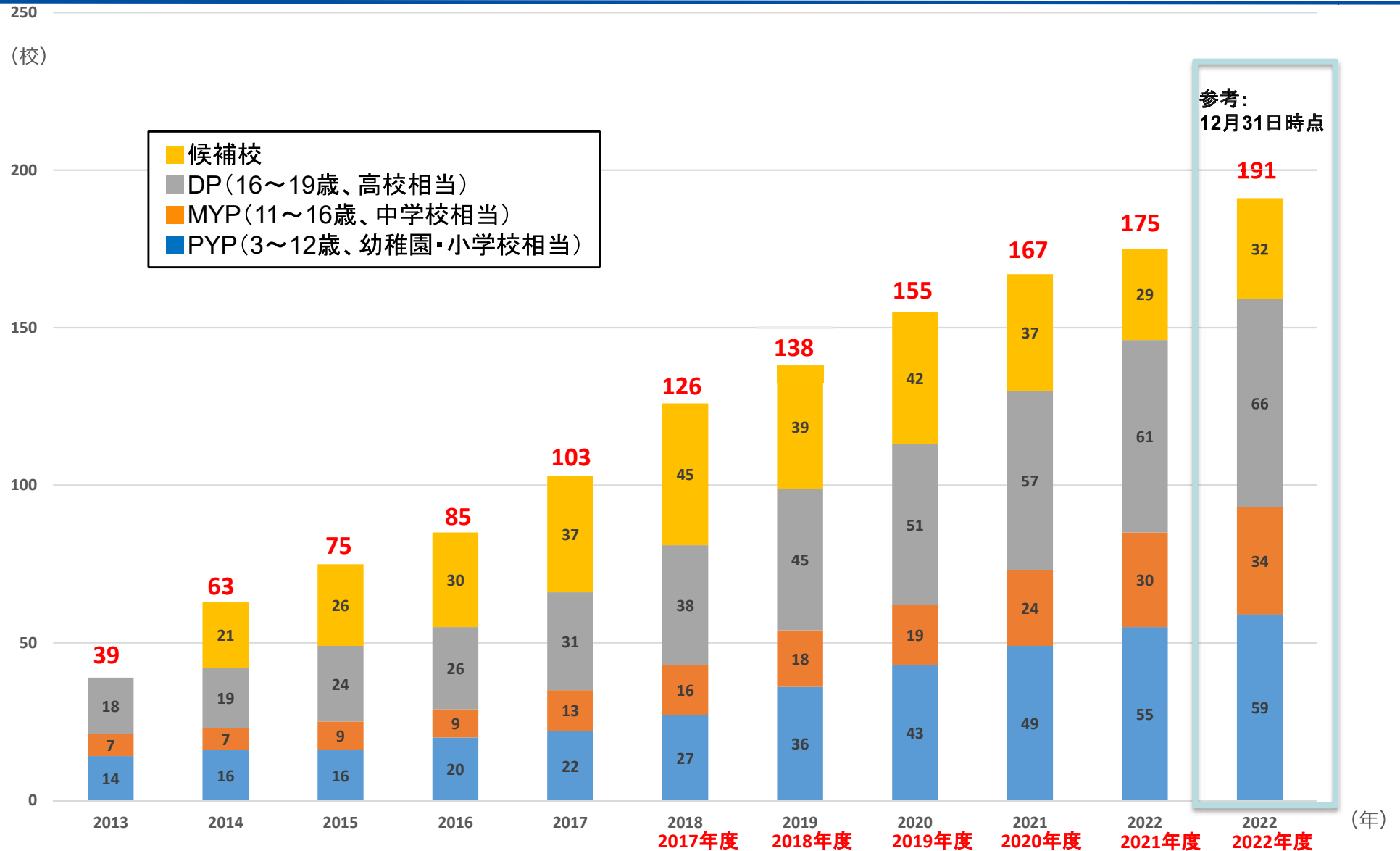


### 【IB啓発のための地域セミナー・講演会等の実施】





## ⑩ IB認定校等数推移





# ⑪ IB認定校一覧 (2022年12月31日時点)

## 北海道

- ※札幌日本大学高等学校
- ※市立札幌開成中等教育学校
- 認定こども園あいの里

## 宮城県

- ※秀光中学校
- ※仙台育英学園高等学校
- 東北インターナショナルスクール
- ホライゾンジャパンインターナショナルスクール仙台泉校
- ※ホライゾン学園仙台小学校
- ※宮城県仙台二華高等学校

## 茨城県

- ※開智望小学校・中等教育学校
- つくばインターナショナルスクール
- ※茗溪学園高等学校

## 群馬県

- ※ぐんま国際アカデミー中等部・高等部

## 埼玉県

- カルガモイングリッシュスクール
- ※さいたま市立大宮国際中等教育学校
- ※昌平中学校・高等学校
- ※筑波大学附属坂戸高等学校

## 東京都

- アオバジャパン・インターナショナルスクール
- アオバジャパン・バイリンガルブリススクール芝浦
- アオバジャパン・バイリンガルブリススクール中野
- アオバジャパン・バイリンガルブリススクール晴海
- アオバジャパン・バイリンガルブリススクール三鷹
- アオバジャパン・バイリンガルブリススクール早稲田
- インディア・インターナショナルスクール・イン・ジャパン
- ウィローブルックインターナショナルスクール
- ※開智日本橋中学・高等学校
- カナディアン・インターナショナルスクール
- グローバルインディアインターナショナルスクール東京
- ケイ・インターナショナルスクール東京
- サイシャインインターナショナルスクール
- サマーヒルインターナショナルスクール
- シナガワインターナショナルスクール
- 清泉インターナショナルスクール
- セント・メリーズ・インターナショナルスクール
- ※玉川学園中学部・高等部
- 東京インターナショナルスクール

## 東京都

- 東京ウエストインターナショナルスクール
- ※東京学芸大学附属大泉小学校
- ※東京学芸大学附属国際中等教育学校
- ※東京都立国際高等学校
- ※町田こばと幼稚園
- みずほスクール
- ※武蔵野大学附属千代田高等学院
- 代々木インターナショナルスクール

## 神奈川県

- ※神奈川県立横浜国際高等学校
- キッズ大陸よこはま中川園
- サンモール・インターナショナルスクール
- ※聖ヨゼフ学園小学校
- ※法政大学国際高等学校
- ホライゾンジャパン・インターナショナルスクール
- ※三浦学苑高等学校
- ※やまた幼稚園
- 横浜インターナショナルスクール

## 山梨県

- ※山梨学院幼・小・高等学校
- ※山梨県立甲府西高等学校

## 長野県

- ※インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢
- インターナショナルスクールオブ長野
- ※松本国際高等学校
- ※若草幼稚園

## 岐阜県

- ※サニーサイドインターナショナルスクール
- ※帝京大学可児高等学校

## 静岡県

- ※エンゼル幼稚園
- ※加藤学園暁秀中学校・高等学校
- ※静岡サレジオ幼・小・中・高等学校

## 愛知県

- アップビート・インターナショナルスクール
- 江西インターナショナルスクール
- ※国際高等学校
- 名古屋インターナショナルスクール
- ※名古屋国際高等学校

## 滋賀県

- ※滋賀県立立売姫高等学校

## 京都府

- 京都インターナショナルスクール
- 同志社インターナショナルスクール
- 国際部
- ※同志社国際学院初等部
- ※生命館宇治高等学校

## 大阪府

- アブロード・インターナショナルスクール大阪
- ※大阪教育大学附属池田中学校
- ※大阪国際高等学校
- ※大阪女学院高等学校
- ※大阪府立水都国際高等学校
- 大阪YMCAインターナショナルスクール
- 関西学院大阪インターナショナルスクール
- ※近畿大学附属高等学校
- ◎コリア国際学園

## 奈良県

- ※育英西中学校

## 兵庫県

- ※AIE国際高等学校
- カネディアン・アカデミー
- ◎関西国際学園
- 神戸ドイツ学院
- マリスト国際学校

## 岡山県

- ※朝日塾中等教育学校
- アブロード・インターナショナルスクール岡山
- ※岡山理科大学附属高等学校

## 広島県

- ※AICJ高等学校
- ※英数学館小学校・高等学校
- つきのひかり国際保育園
- 広島インターナショナルスクール
- ※広島県立広島叡智学園中学校・高等学校

## 鳥取県

- ※鳥取県立倉吉東高等学校

## 高知県

- ※香美市立大宮小学校
- ※香美市立香北中学校
- ※高知県立高知国際中学校・高等学校

## 福岡県

- 福岡インターナショナルスクール
- ※福岡第一高等学校
- ※リンデンホールスクール中高度部

## 熊本県

- 熊本インターナショナルスクール

## 沖縄県

- オキナワインターナショナルスクール
- (沖縄国際学院高等専修学校)
- ※沖縄尚学高等学校

(参考) 国際バカロレア認定校等数: 191校

|     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| PYP | 認定校 | 59校 | 候補校 | 21校 |
| MYP | 認定校 | 34校 | 候補校 | 8校  |
| DP  | 認定校 | 66校 | 候補校 | 3校  |

(凡例)

■ 公立IB校の所在都道府県 ◎ (二重丸): デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム (DLDP) 実施校 33校

■ 国私立IB校の所在都道府県 ※ 学校教育法第1条に定める学校 (いわゆる1条校) 72校

青 字: 国公立IB校

※第3回会議から修正あり



# ⑫ I Bを活用した国内大学入試（2022年度調査）

| 全学部実施（40大学）                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 一部学部実施（37大学）                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【国立】</b><br><u>筑波大学</u><br><u>お茶の水女子大学</u><br><u>東京医科歯科大学</u><br><u>東京外国語大学</u><br><u>東京学芸大学</u><br><u>金沢大学</u><br><u>名古屋大学</u><br><u>京都工芸繊維大学</u><br><u>香川大学</u><br><u>九州工業大学</u><br><u>鹿児島大学</u><br><u>琉球大学</u> | <u>武蔵野学院大学</u><br><u>工学院大学</u><br><u>国際基督教大学</u><br><u>芝浦工業大学</u><br><u>玉川大学</u><br><u>多摩美術大学</u><br><u>東京都市大学</u><br><u>東洋大学</u><br><u>日本獣医生命科学大学</u><br><u>日本体育大学</u><br><u>ビジネス・ブレークスルー大学</u><br><u>武蔵野美術大学</u><br><u>松本歯科大学</u><br><u>中京大学</u><br><u>京都外国語大学</u><br><u>同志社大学</u><br><u>関西学院大学</u><br><u>神戸女学院大学</u><br><u>倉敷芸術科学大学</u><br><u>西南学院大学</u><br><u>立命館アジア太平洋大学</u> | <b>【国立】</b><br><u>北海道大学</u><br><u>東北大学</u><br><u>秋田大学</u><br><u>群馬大学</u><br><u>東京藝術大学</u><br><u>東京大学</u><br><u>京都大学</u><br><u>大阪大学</u><br><u>岡山大学</u><br><u>広島大学</u><br><u>九州大学</u><br><u>長崎大学</u> | <u>慶應義塾大学</u><br><u>順天堂大学</u><br><u>上智大学</u><br><u>創価大学</u><br><u>中央大学</u><br><u>東京理科大学</u><br><u>法政大学</u><br><u>武蔵野大学</u><br><u>明治学院大学</u><br><u>明治大学</u><br><u>立教大学</u><br><u>早稲田大学</u><br><u>愛知医科大学</u><br><u>立命館大学</u><br><u>関西医科大学</u><br><u>関西大学</u><br><u>近畿大学</u><br><u>広島修道大学</u> |
| <b>【公立】</b><br><u>国際教養大学</u><br><u>会津大学</u><br><u>横浜市立大学</u><br><u>兵庫県立大学</u><br><u>叡啓大学</u>                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <b>【公立】</b><br><u>東京都立大学</u><br><u>都留文科大学</u><br><u>大阪公立大学</u>                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>【私立】</b><br><u>東北福祉大学</u><br><u>日本工業大学</u>                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <b>【私立】</b><br><u>国際医療福祉大学</u><br><u>東京国際大学</u><br><u>明海大学</u><br><u>青山学院大学</u>                                                                                                                    | <div>計77大学</div>                                                                                                                                                                                                                                                                           |

【注】・日本の学校の卒業生を対象としているものを記載（帰国生や留学生に限定しているものを除く）

・下線はIB資格取得者・取得予定者のみを対象とした入試を実施している大学である。

・各大学へのアンケートに基づき文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム事務局にて作成したもので、必ずしも全ての情報を網羅しているわけではありません。（調査：2022年12月時点）

※第3回会議から修正あり

※文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム事務局調べ

# 香北中学 数学 2名の教師で対応

令和5年10月24日（火）第2回南相馬市総合教育会議 追加資料2



授業風景



成果発表



ノートは使用しない  
ワークシートのみ

# 大宮小学校 英語授業

令和5年10月24日（火）第2回南相馬市総合教育会議 追加資料 2



ALT1(外国人)名と教師1名で実施